

全日教連や岐学組が何たるかを知らずに参加したため、不安はありましたが、理念や取組を知り安心しました。全国から集まった先生方にも同じような不安があり、徐々に意見や考えが合致していくことに心地よさを感じました。

研修の中ではグループ毎に主権者教育や小学校英語の教科化などについて話し合いました。私は道徳の教科化について話し合いました。各県の先生方の不安に共感しつつも、岐阜県の道徳教育は充実していることを感じることもありました。

教育懇談会で、宮川典子氏から国の教育施策の決定について教えていただきました。教育現場は人材不足が深刻である中、多忙感に加え心的疲労もあり、困憊である現実を十分理解してくださりました。そういった実情の中で、「基礎定数の増加」にこだわって要望を出し続けてくださることを知りました。なかなか予算が下りないなか、「教育に投資できるということは、子どもの力を信じられることだ」と主張してみえた考えに強く共感しました。

全国各地の先生方と同じ志のもと、広い視野で教育について考えられた有意義な二日間でした。ありがとうございました。